

しりべし経済レポート

Vol.116
(令和7年8月発行)



財務省 北海道財務局 小樽出張所

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

目 次

総 括 判 断	1
個 人 消 費	2
観 光	4
住 宅 建 設	6
公 共 工 事	7
生 産	7
雇 用	8
【 参 考 】	
金 融	9
企 業 倒 産	10

=利用に当たっての注意=

・ 数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。

・ 本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

1. 【令和7年4月～6月期 総括判断】

管内経済は、持ち直している

	前回（7.1～3期）	今回（7.4～6期）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

2. 【各項目の判断】

	前回（7.1～3期）	今回（7.4～6期）	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観光	回復しつつある	回復しつつある	
住宅建設	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
公共工事	年度累計では前年を上回る	前年を上回る	
生産	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

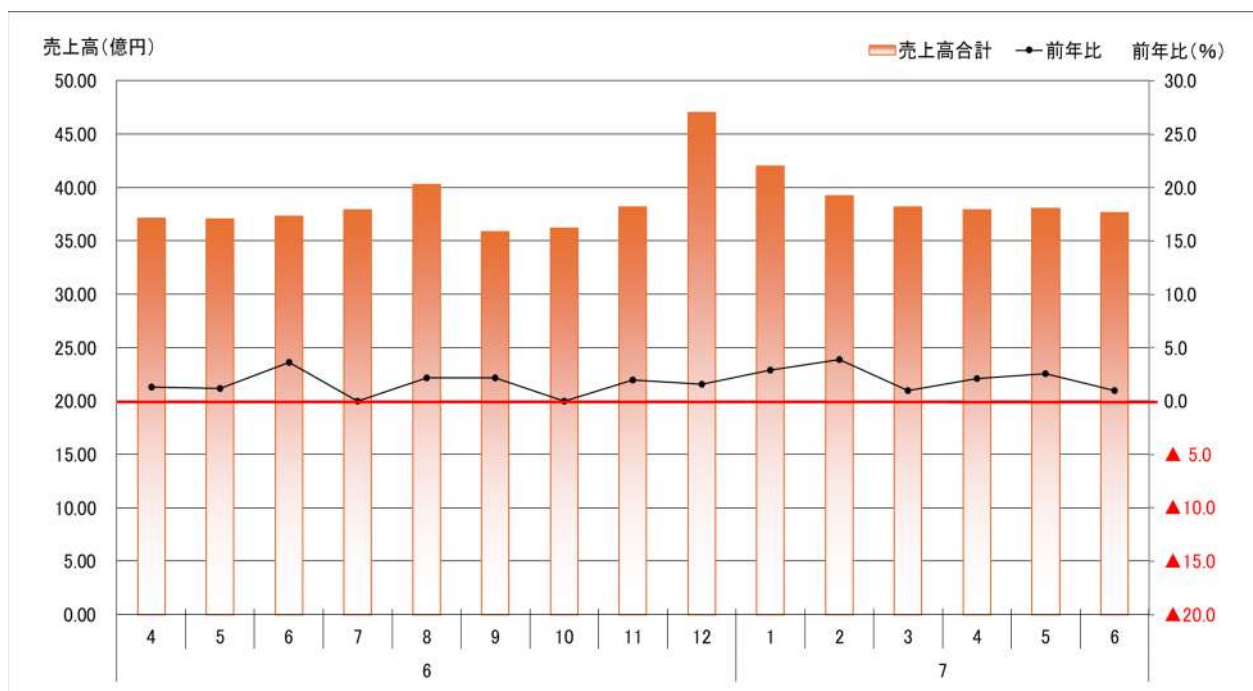
【個人消費】

持ち直しつつある

主要小売店売上高は、物価高による節約志向が続く中で、調理簡便需要が堅調であることから、前年を上回っている。

新車登録・届出台数は、前年の認証不正問題からの反動増により、前年を上回っている。

主要小売店売上高

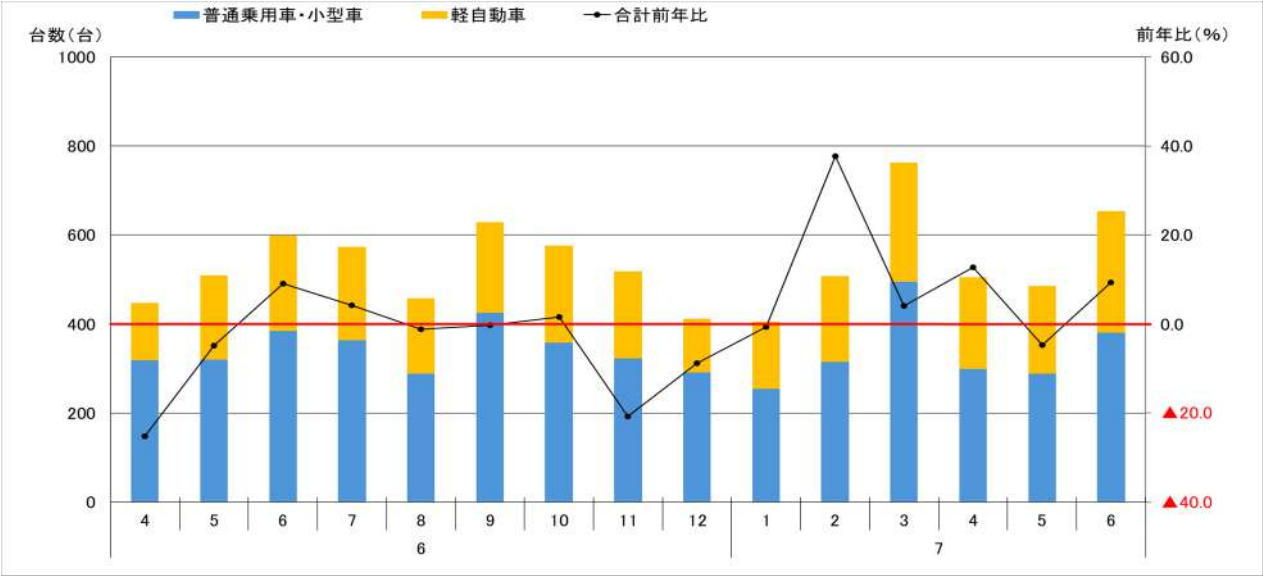


(単位: 百万円、%)

	合計		うち飲食料品		うち衣料品	
		前年比		前年比		前年比
5年	45,145	5.4	29,485	5.4	1,314	▲ 1.8
6年	46,321	2.6	30,350	2.9	1,232	▲ 6.2
6. 4～6	11,141	2.0	7,195	2.0	305	▲ 10.6
7～9	11,407	1.2	7,513	1.1	294	▲ 2.0
10～12	12,131	0.9	7,799	1.5	362	▲ 3.4
7. 1～3	11,946	2.6	8,013	2.2	266	▲ 1.8
4～6	11,356	1.9	7,437	2.1	299	▲ 2.1
7年1月	4,203	2.9	2,807	1.7	95	1.7
2月	3,923	3.9	2,671	4.2	72	▲ 6.3
3月	3,820	1.0	2,535	0.6	98	▲ 1.8
4月	3,789	2.1	2,467	3.7	95	▲ 3.0
5月	3,801	2.6	2,418	2.1	100	▲ 0.9
6月	3,766	1.0	2,462	0.6	104	▲ 2.5

(資料) 北海道財務局小樽出張所

新車登録・届出台数



(単位:台、%)						
	合計		普通乗用車・小型乗用車		軽自動車	
		前年比		前年比		前年比
5年	6,980	13.9	4,434	17.3	2,546	8.4
6年	6,233	▲ 10.7	4,038	▲ 8.9	2,195	▲ 13.8
6. 4～6	1,555	▲ 7.6	1,023	▲ 6.3	532	▲ 9.8
7～9	1,661	1.0	1,078	3.6	583	▲ 3.3
10～12	1,506	▲ 9.9	972	▲ 6.2	534	▲ 16.0
7. 1～3	1,677	11.0	1,065	10.4	612	12.1
4～6	1,644	5.7	968	▲ 5.4	676	27.1
7年1月	406	▲ 0.7	255	▲ 3.4	151	4.1
2月	508	37.7	315	35.8	193	40.9
3月	763	4.1	495	5.5	268	1.5
4月	505	12.7	299	▲ 6.3	206	59.7
5月	485	▲ 4.7	288	▲ 10.0	197	4.2
6月	654	9.4	381	▲ 0.8	273	27.6

(資料) 北海道財務局小樽出張所

個人消費に関する生の声

- ・ 買い上げ点数は大きく減少しているが、物価高による単価アップにより客単価は昨年と比べて上がっている。(小売店)
- ・ お買い得な販促・商品を求める買い回りが見られ、買い上げ点数は減少している。(小売店)
- ・ 特売日やポイントデーなどの販促日の客入りが多い。(小売店)
- ・ 調理簡便需要が見受けられ、共働き世帯やサラリーマン層を中心に総菜が売れる傾向がある。(小売店)
- ・ 今年の4～6月は猛暑の影響がなく、エアコン需要における来店数、顧客単価ともに下がってしまった。(小売店)
- ・ 現在の納期に関しては、認証不正問題からの回復を受け、おおよそ1～2か月の納車サイクルになっている。(乗用車販売店)

【先行き】

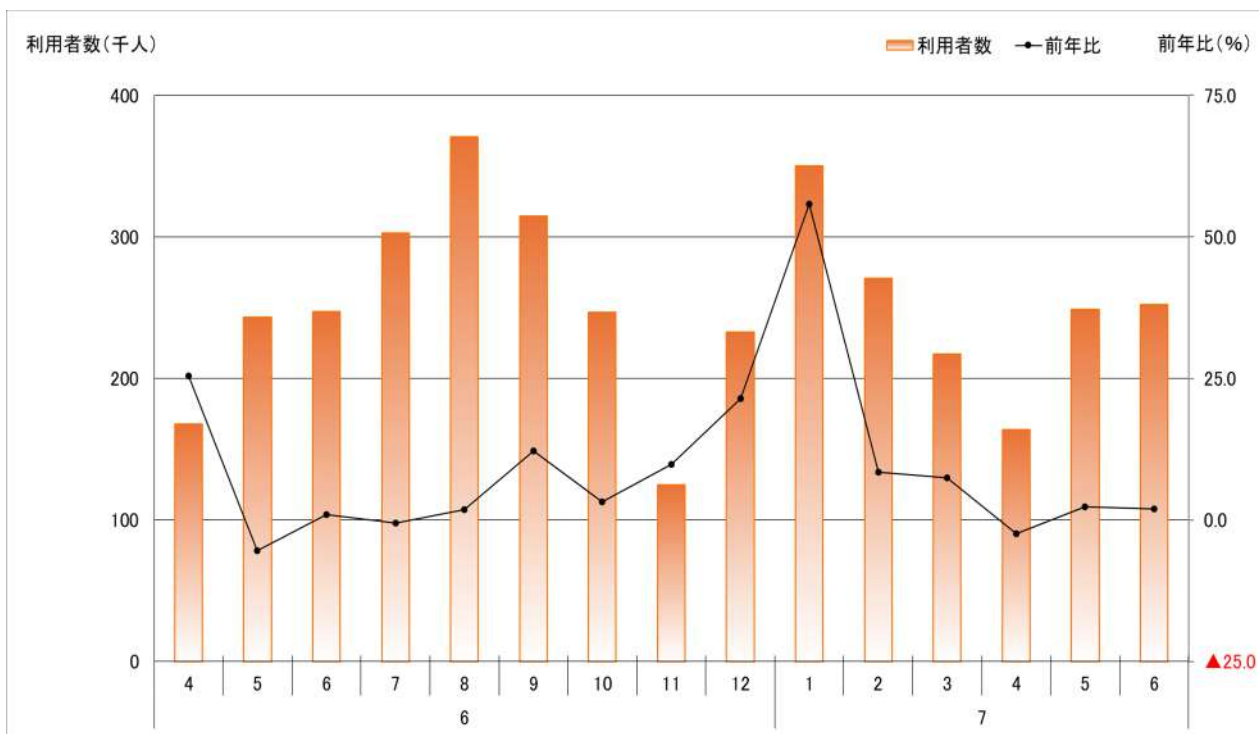
- ・ インバウンド含む旅行者は増加傾向のため、地元のお客様や観光客含めニーズにあった商売をしていかなければならないと考察される。(小売店)
- ・ お盆休みのため、8月の受注数は減少するものの、お盆までの納車を目指すことから登録数は増加する見込み。(乗用車販売店)

【観光】

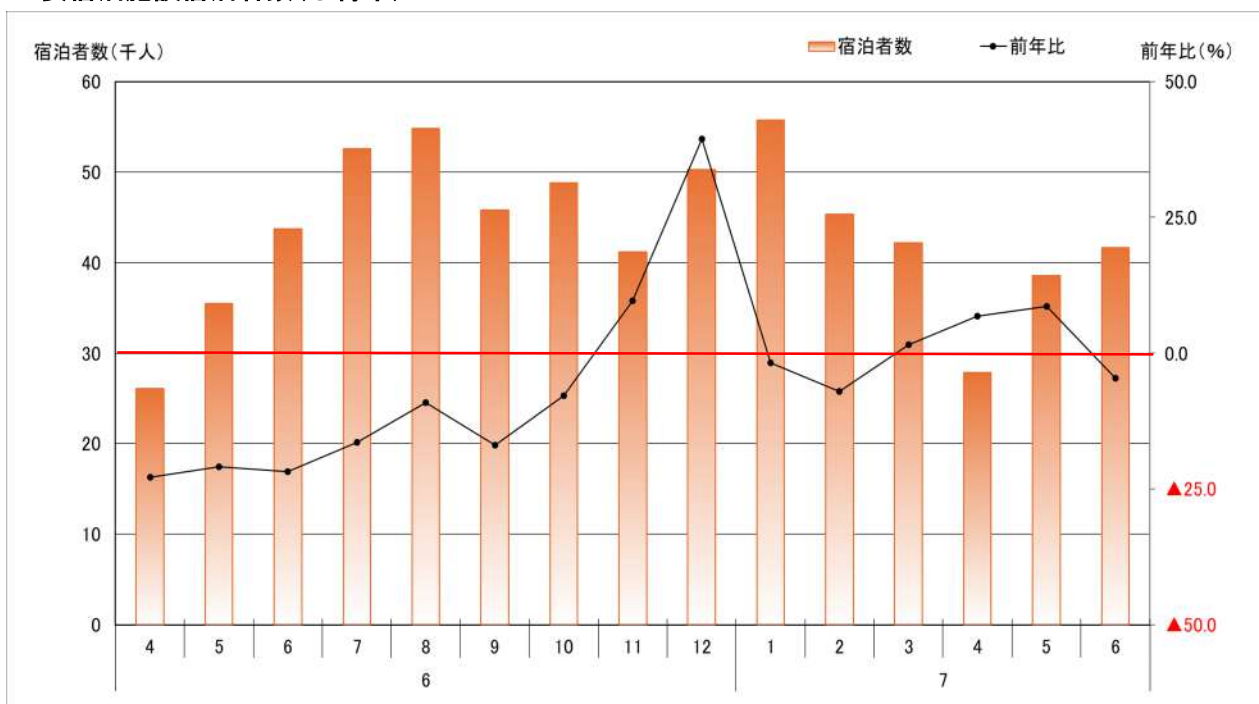
回復しつつある

主要観光施設利用者数及び主要宿泊施設宿泊者数は、物価高等の影響があったが、円安の状況が続く中、海外客が増加したことから前年を上回っている。

主要観光施設利用者数



主要宿泊施設宿泊者数(小樽市)



(単位:人、%)

	主要観光施設 利用者数		主要宿泊施設 宿泊者数	
		前年比		前年比
5年	2,661,708	23.0	567,973	22.4
6年	2,926,978	10.0	545,821	▲ 3.9
6. 4～6	658,125	3.5	105,274	▲ 21.8
7～9	987,911	4.1	153,190	▲ 14.1
10～12	603,974	11.0	140,294	10.8
7. 1～3	838,613	23.9	143,296	▲ 2.6
4～6	664,289	0.9	108,077	2.7
7年1月	350,244	55.8	55,774	▲ 1.8
2月	270,951	8.5	45,306	▲ 7.0
3月	217,418	7.5	42,216	1.6
4月	163,572	▲ 2.4	27,840	6.9
5月	248,588	2.3	38,556	8.6
6月	252,129	1.9	41,681	▲ 4.6

(資料) 北海道財務局小樽出張所

※「主要宿泊施設利用者数」に関しては今期は集計対象施設数が減少しているため、過去に遡って人数及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

観光に関する生の声

・国内客はGWの日並びが悪かったことや、大阪万博の方面の旅行需要、参議院選挙で旅行控えも見られた。国外客は家族や友人単位での行動が多く、レンタカーやアテンドタクシーを用いて、道内複数の場所で観光を楽しむことが増えている。円安の影響もあり前年より客足が伸びた。(観光施設)

・クルーズ船接岸時には、アテンドコースに組み込まれていることから外国人観光客の来店数が増加した。(観光施設)

・5月以降は天候に恵まれていたことや、メディアにも取り上げられ、国内客の客入りが好調であった。海外客に関してもロケツーリズム需要により東アジア方面からの客入りが安定していた。(観光施設)

・観光客は大阪万博開催で西日本方面へと流れて行っていることや、6月ごろからは7月5日の地震の噂で東アジアからの観光客が減少した。(公的機関)

・宿泊客の予約動向に関しては、物価高の影響のためか、ウェブサイトで値下げを行うと予約が入る状況になってきており、従来の宿泊する数カ月前から予約をされていた動向から変化している。(宿泊施設)

・国内客は道内客のリピーターが多く、低予算で車を使い近場を楽しむ傾向が見られた。外国人客は円安やSNSによる口コミ効果で来泊者は増えている状況であったが、6月以降は7月5日の噂で減少した。(宿泊施設)

【先行き】

・7月以降は、夏休みやお盆でハイシーズンではあるが、引き続き大阪万博の影響が道外からの宿泊者数に影響すると考えられる。(観光施設)

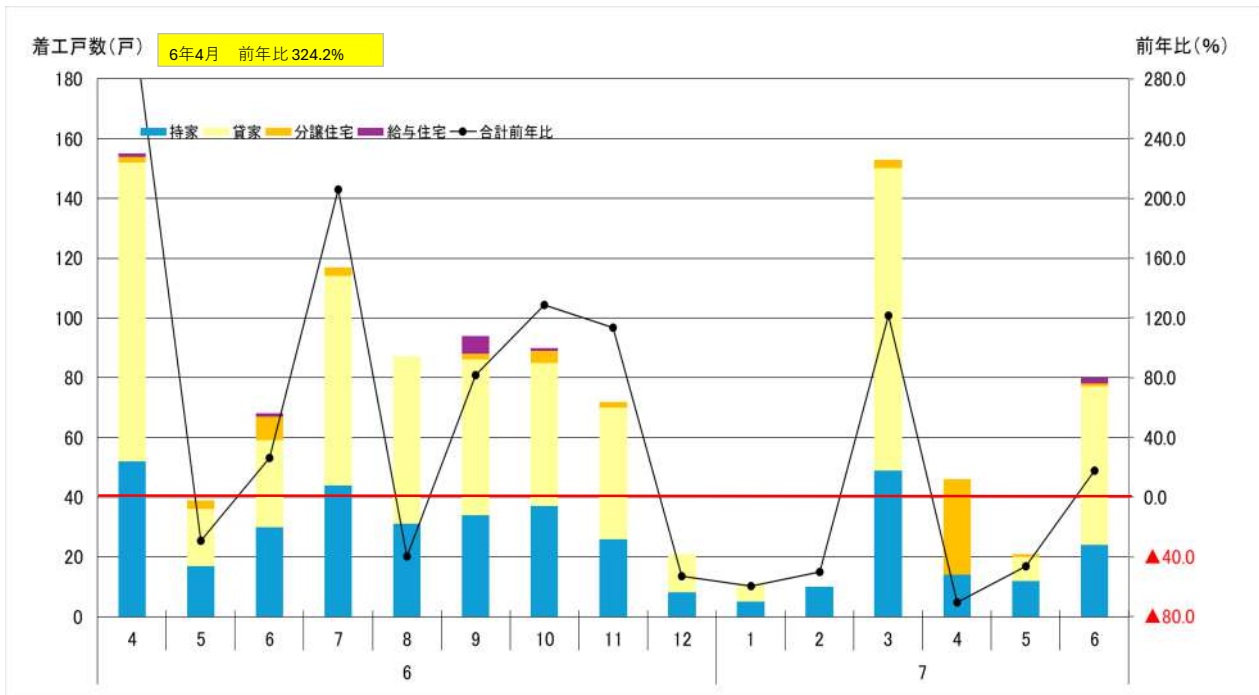
・7月以降は、物価高による旅行控えと思われる影響で、夏休み時期の宿泊予約者数が例年より少ない状況であると聞いている。(公的機関)

【住宅建設】

持ち直しのテンポが緩やかになっている

新築住宅着工戸数は、分譲住宅が前年を上回っているものの、持家と貸家が前年を下回っていることから全体でも前年を下回っている。

新設住宅着工戸数(後志管内20町村)



(単位:戸、%)

	後 志 管 内											
	合 計				利 用 関 係 別							
	うち小樽市				持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
6. 4～6	262	25.4	35	▲ 60.7	99	1.0	148	57.4	2	▲ 87.5	13	13.0倍
7～9	298	11.6	39	▲ 36.1	109	53.5	178	▲ 5.3	6	20.0	5	66.7
10～12	183	50.0	55	52.8	71	44.9	105	2.6倍	1	▲ 83.3	6	▲ 80.6
7. 1～3	174	50.0	26	▲ 56.7	64	2.1倍	107	40.8	0	皆減	3	▲ 50.0
4～6	147	▲ 43.9	24	▲ 31.4	50	▲ 49.5	61	▲ 58.8	2	0.0	34	2.6倍
7年1月	11	▲ 59.3	4	2.0倍	5	▲ 28.6	6	▲ 70.0	0	0.0	0	0.0
2月	10	▲ 50.0	6	▲ 14.3	10	2.0倍	0	皆減	0	皆減	0	皆減
3月	153	2.2倍	16	▲ 68.6	49	2.7倍	101	2.1倍	0	皆減	3	2.0倍
4月	46	▲ 70.3	8	▲ 46.7	14	▲ 73.1	0	皆減	0	皆減	32	16.0倍
5月	21	▲ 46.2	11	10.0	12	▲ 29.4	8	▲ 57.9	0	0.0	1	▲ 66.7
6月	80	17.6	5	▲ 50.0	24	▲ 20.0	53	82.8	2	2.0倍	1	▲ 87.5

(集計対象団体：後志管内20市町村)

(資料) 国土交通省

※令和6年4月からの小樽市の新設住宅着工戸数は、国土交通省への計数報告に誤りがあったことから、本レポートより正しい報告内容を反映しており、以前までの数字と連続していない。

住宅建設に関する生の声

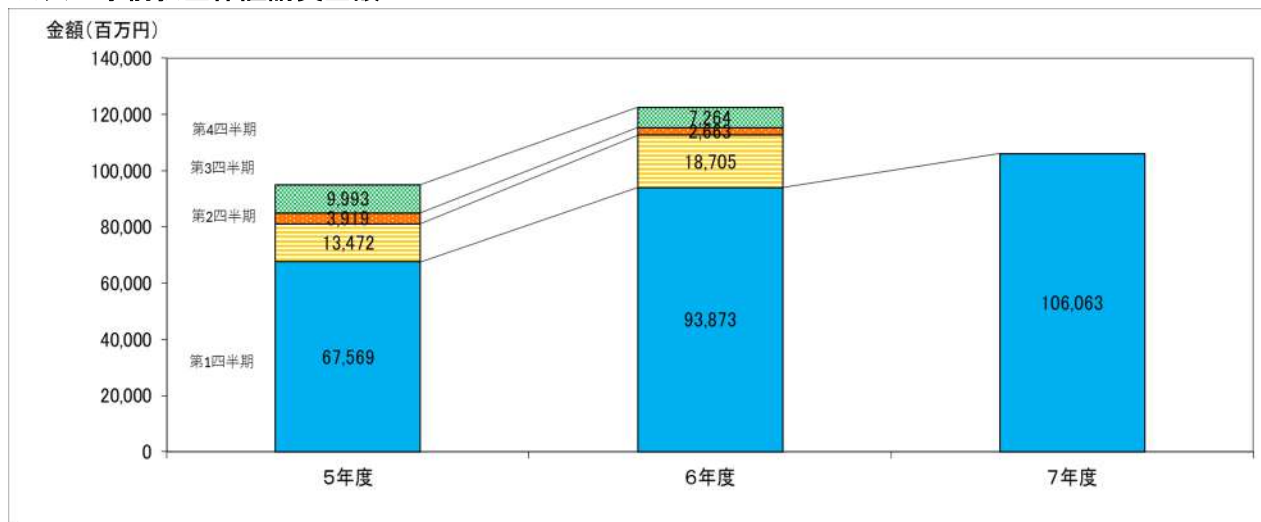
- ・町内企業の従業員用としての共同住宅需要が高まったと感じる。(公的機関)
- ・建築需要の高い地域における建築可能な土地の減少や、土地・建物の購入費上昇が見られる。(建設会社)

【公共工事】

前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額は、前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位:百万円、%)				
	月間		累計(年度)	
		前年比		前年比
5年度	—	—	94,953	11.5
6年度	—	—	122,505	29.0
6. 4～6	93,873	38.9	93,873	38.9
7～9	18,705	38.8	112,578	38.9
10～12	2,663	▲ 32.0	115,241	35.6
7. 1～3	7,264	▲ 27.3	122,505	29.0
4～6	106,063	13.0	106,063	31.5
7年1月	74	10.4	115,315	35.6
2月	276	▲ 74.3	115,592	34.3
3月	6,913	▲ 21.9	122,505	29.0
4月	73,608	31.5	73,608	31.5
5月	26,447	▲ 17.4	100,056	13.7
6月	6,007	2.0	106,063	13.0

※四半期の数字は、端数の関係で単月3ヶ月の累計と一致しない。

(資料) 北海道建設業信用保証㈱

【生産】

持ち直しつつある

生コン出荷状況は、官需は前年を上回っているが、民需は前年を下回った。全体では前年を上回っている。

水産加工稼働状況は、観光客の土産需要が継続する一方で、ニシン等の漁獲量減少やそれに伴う仕入れ価格の上昇の影響から、低調となっている。

金属加工は、軌道整備にかかる部品の受注増加等から、好調となっている。機械生産は、前年同期の受注量が多かったことによる反動減から、低調となっている。

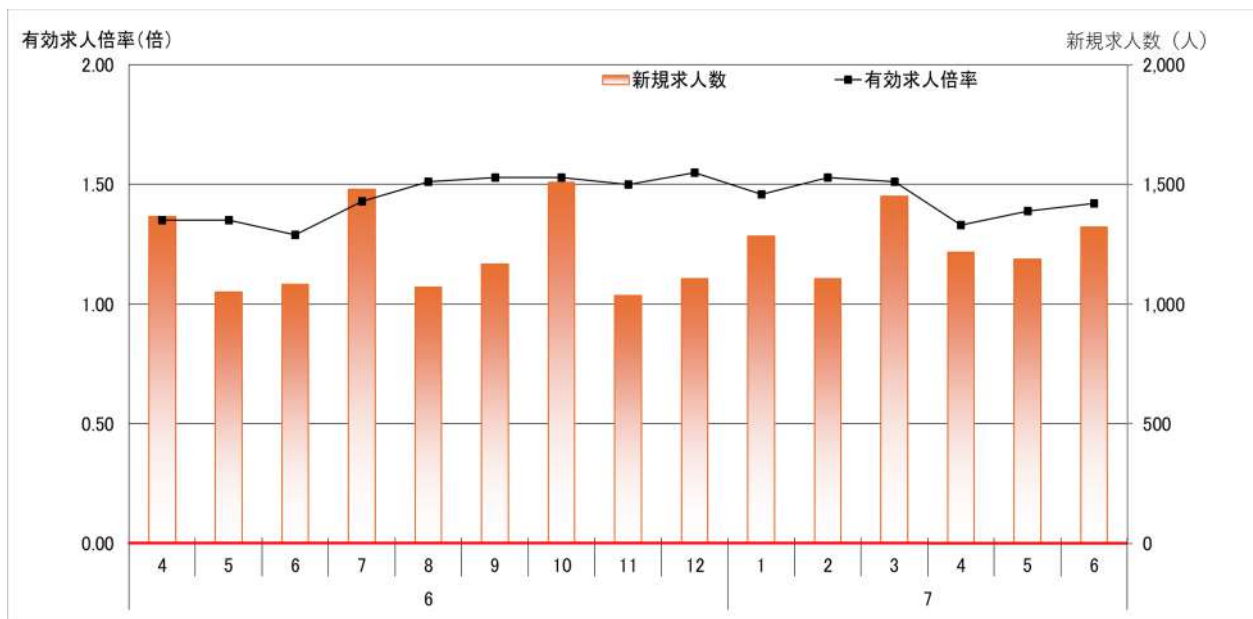
プラスチック製品は、生産需要が回復しているため、安定した操業となっている。ゴム製品は、建築需要による受注があることから、安定した操業となっている。

【雇用】

緩やかに持ち直している

有効求人倍率は前年を上回ったものの、有効求人数及び有効求職者数は前年を下回る状況が続いている。新規求人数は、前年を上回っている。
ヒアリング先からは、民間求人媒体を積極的に利用している等の声が聞こえており、企業の求人意欲が高い状況は続いている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



(単位: 人、%、倍、ポイント)

	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比
5年	31,493	▲ 1.3	45,540	7.1	1.45	0.12	6,992	▲ 1.5	15,935	4.7
6年	29,565	▲ 6.1	42,701	▲ 6.2	1.44	▲ 0.01	6,607	▲ 5.5	14,898	▲ 6.5
6. 4～6	8,023	▲ 6.0	10,667	▲ 11.0	1.33	▲ 0.07	1,865	▲ 8.9	3,495	▲ 15.3
7～9	7,059	▲ 8.6	10,532	▲ 10.0	1.49	▲ 0.03	1,424	▲ 4.3	3,716	▲ 6.6
10～12	6,965	▲ 6.8	10,634	▲ 3.7	1.53	0.05	1,477	3.6	3,647	▲ 1.9
7. 1～3	6,970	▲ 7.3	10,467	▲ 3.7	1.50	0.05	1,708	▲ 7.2	3,838	▲ 5.0
4～6	7,707	▲ 3.9	10,633	▲ 0.3	1.38	0.05	1,867	0.1	3,725	6.6
7年1月	2,271	▲ 4.7	3,325	▲ 3.1	1.46	0.02	560	2.4	1,284	▲ 8.9
2月	2,231	▲ 11.3	3,403	▲ 4.7	1.53	0.11	479	▲ 19.4	1,104	▲ 0.1
3月	2,468	▲ 5.8	3,739	▲ 3.3	1.51	0.03	669	▲ 4.4	1,450	▲ 5.0
4月	2,629	▲ 4.7	3,503	▲ 5.9	1.33	▲ 0.02	849	3.9	1,217	▲ 10.8
5月	2,570	▲ 5.2	3,568	▲ 2.3	1.39	0.04	514	▲ 10.1	1,188	13.3
6月	2,508	▲ 1.8	3,562	8.2	1.42	0.13	504	5.9	1,320	22.0

(資料) 小樽・岩内公共職業安定所

※本指標は常用と常用パートの合計である。

雇用に関する生の声

- ・求職活動の多様化の影響から、有効求職者数が減少した。また、民間求人媒体の活用や外国人労働者の受入れを行い、労働者を確保している企業が多いことから、有効求人数も減少したと考えている。(公的機関)
- ・スキマバイトサービス経由で雇用の中において、当社で働いてほしい人材へは社員登用の声掛けを行っている。(宿泊業)
- ・人手不足から外国人技能実習生2名を整備担当で配属している。(自動車販売業)

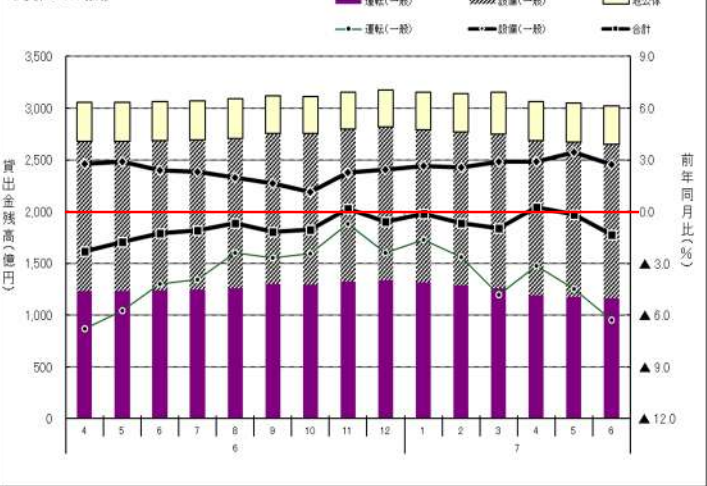
参考

【金融】

貸出金残高は前年を下回る

金融(貸出金)

○貸出金の推移



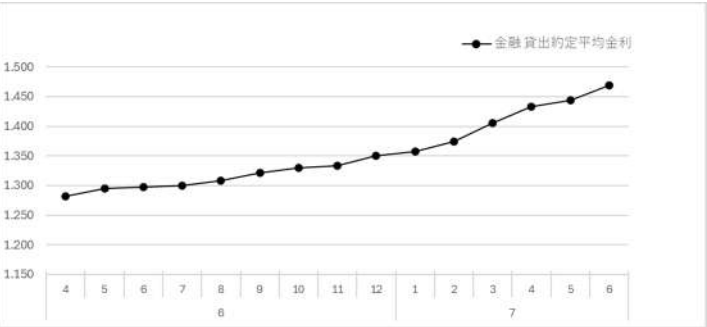
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)				前年比
	設備(一般)	運転(一般)	地公体	合計	
6年3月	144,881	132,088	41,192	318,161	▲ 1.6
7年3月	149,090	125,726	40,266	315,082	▲ 1.0

7年1月	147,607	131,591	35,910	315,108	▲ 0.1
2月	147,903	128,915	37,003	313,821	▲ 0.7
3月	149,090	125,726	40,266	315,082	▲ 1.0
4月	149,059	119,207	38,214	306,480	0.2
5月	149,826	117,638	37,583	305,047	▲ 0.2
6月	148,895	115,993	37,233	302,121	▲ 1.3

(注) 1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。
2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。

金融(貸出約定平均金利)



(資料)北海道財務局小樽出張所

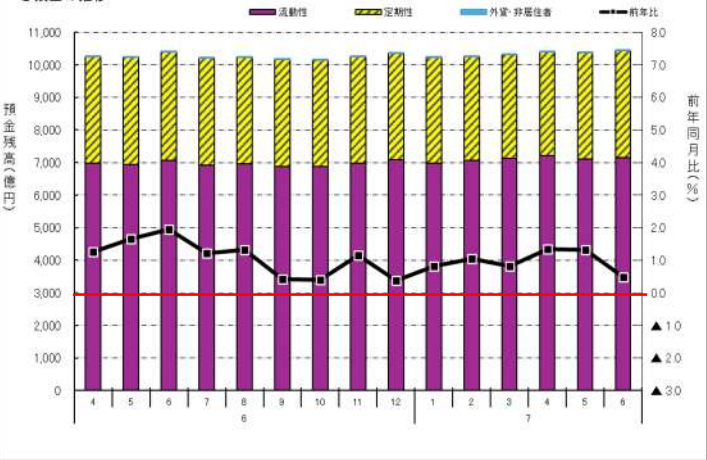
	金利(%)	前年差(Pt)
6年3月	1.257	0.016
7年3月	1.406	0.149

	金利(%)	前月差(Pt)
7年1月	1.357	0.007
2月	1.374	0.017
3月	1.406	0.032
4月	1.433	0.027
5月	1.444	0.011
6月	1.469	0.025

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

金融(預金)

○預金の推移



(資料)北海道財務局小樽出張所

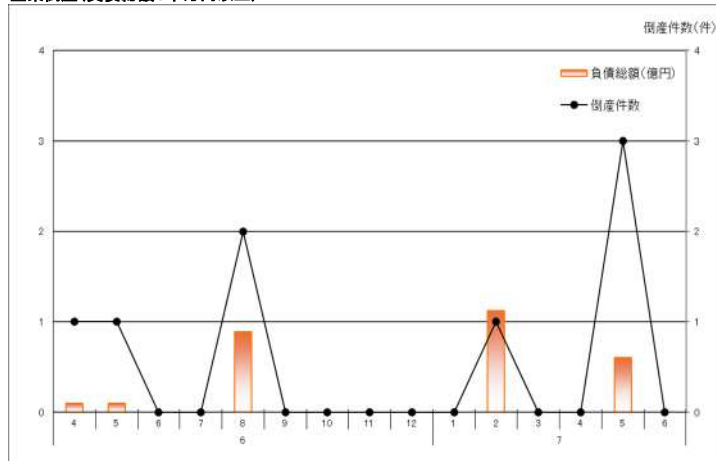
	金額(百万円)				前年比
	流動性	定期性	外貨・非居住	合計	
6年3月	693,703	328,964	492	1,023,159	2.8
7年3月	711,771	318,813	956	1,031,540	0.8

7年1月	698,418	324,291	768	1,023,477	0.8
2月	706,518	319,083	875	1,026,476	1.0
3月	711,771	318,813	956	1,031,540	0.8
4月	721,259	318,117	664	1,040,040	1.3
5月	710,580	326,401	589	1,037,570	1.3
6月	715,191	328,370	716	1,044,277	0.5

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

件数、負債総額とも前年を上回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)



(資料) 株式会社東京商工リサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
5年	13	2.2倍	1,947	16.9
6年	6	▲53.8	426	▲78.1

6.4~6	2	▲ 50.0	20	▲ 95.4
7~9	2	0.0	89	▲ 86.6
10~12	0	皆減	0	皆減
7.1~3	1	▲ 50.0	112	▲ 64.7
4~6	3	50.0	60	3.0倍

7年1月	0	0.0	0	0.0
2月	1	0.0	112	▲ 62.7
3月	0	皆減	0	皆減
4月	0	皆減	0	皆減
5月	3	3.0倍	60	6.0倍
6月	0	0.0	0	0.0

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

E-mail HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp